



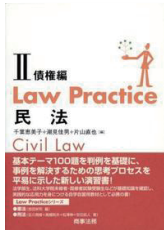
『行政法〔第4版〕』

櫻井敬子 = 橋本博之
(弘文堂 本体¥3300)



『刑法総論の
考え方・楽しみ方』

佐伯仁志
(有斐閣 本体¥3200)



『Law Practice 民法Ⅱ債権編』

千葉恵美子ほか編
(商事法務 本体¥3000)

- | | |
|----|---|
| 2位 | 『法と心理学』
藤田政博編著 (法律文化社 本体¥2800) |
| 2位 | 『倒産法の最新論点ソリューション』
岡 正晶ほか監修 (弘文堂 本体¥4500) |
| 2位 | 『濫用的会社分割』
土岐教司 = 辺見紀男編 (商事法務 本体¥3500) |
| 3位 | 『行政判例ノート〔第3版〕』
橋本博之 (弘文堂 本体¥2900) |
| 3位 | 『競争法の理論と課題』
川濱 昇ほか編 (有斐閣 本体¥16000) |
| 3位 | 『事例演習刑事訴訟法』
古江頼隆 (有斐閣 本体¥2500) |
| 3位 | 『債権総論〔第3版〕』
中田裕康 (岩波書店 本体¥4500) |

震災復興に関する 書籍にも注目を。

小早川美希

法律書担当

・今月のランキング

10月は教科書の購入がメインになりますので、それ以外の書籍は動きが鈍っています。ランキングの中では、『法と心理学』に注目しました。今まで法哲学、法思想、法社会学、法と経済学などの本は見てきましたが、心理学との組み合わせははじめて見ました。じわじわと動いています。

・ランキング外の注目の書籍

震災復興に関する本では『資料集東日本大震災・原発災害と学校』（明石書店）が、高額ですが大勢の先生方及び研究室にご購入いただいています。他には『復興と学校』（岩波書店）、『巨大災害のリスクコミュニケーション』『市町村合併による防災力空洞化』（ともにミネルヴァ書房）などが注目されています。

・お店から

お店は法学部、経済学部、文学部、教育学部の学部生が中心のキャンパスにあります。東北の大学生協では数少ない書籍の単独店舗で、専門書を中心にご利用いただいています。

最近のトピックとしては、第3回アガサ・クリスティー賞受賞作の『致死量未満の殺人』（早川書房）の著者、三沢陽一さんが、東北大学大学院法学研究科OBということで、販売に力を入れています。仙台在住のお店にも来ていただき、サインももらいました。大学生が主人公なので、学生にも広く読んでもらいたいですね。



次号の Bookstore's Voice は
九州大学生協文系書部です。